

## 会長からのメッセージ

スイスのジュネーブで開催された WHO 世界保健総会 (WHA) にあわせて開催された 3 つの特別会議に出席し、帰国したところです。これらの会議に出席して私は、政治問題にかかわらず、全世界の健康改善に向けた真摯な活動は全世界で続いているということを強く感じました。

最初の 2 つの会議は国際薬剤師・薬学連合 (FIP) に直接関係したものでした。1 つは地域フォーラムの議長 6 名による討議で、ここでは相互協力と理解によって大きな成果が得られ、各地域で同じことを「一からやり直し」せずすみよう、相互に情報交換することの重要性について合意することができました。

全地域フォーラムの会議の後、FIP 執行部の会議が行われ、地域ごとの活動や動向が報告されました。FIP のこうした地域化により、執行部、執行委員会及びハーグの本部は世界で起きている事態や諸問題に関する情報をより詳しく入手できるようになり、FIP は世界の動きにより深くかかわることができるようになりました。あるフォーラムの議長はフォーラムを「FIP の手足」と評しています。

非常に素晴らしいことに、2004 年 5 月 15 日 (土) 及び 16 日 (日) に、世界医療職連合 (WHPA: World Health Professions Alliance, World Professionals'

Alliance ) の歴史的な第 1 回国際会議が開催されました。WHO は、医師、薬剤師及び看護師を一次医療の主たる提供者として、WHPA の発展を奨励しています。薬剤師がヘルスケアの最前線で活躍していることを、保健の世界最高権威が認めていることは、非常に重大なことです。

医師、薬剤師及び看護師のこの歴史的会議では、国際看護協会、FIP 及び世界医師会の各代表が一堂に会しました。世界約 70 か国の国々を代表し、3 職種の医療従事者が集結したのです。会議では「保健の向上のための協力」というテーマで、次の 3 項目について討議が行われました。 ・ 今後の望ましい医療 ・ 連携と協力 ・ 保健における戦略的リーダーシップ

各議題について講演が行われ、その後討議の時間が設けられました。協力体制とリーダーシップについて多数の好例が紹介され、西太平洋地域の団体も発言しました。

多くの素晴らしい講演が行われましたが、そのうち、国連の HIV/AIDS 特使である Stephen Lewis の講演は非常に感動を呼びました。同氏は HIV/AIDS にまつわる国際問題や全人類的問題と、低価格の薬剤でも患者に供給することが難しい現状を感動的かつ率直に訴え、総立ちの拍手喝采を受けました。

討議の後、WHA に提出される WHO の懸念事項に関する決議が採択され、同時に HIV/AIDS に対抗するための支援を世界各国に呼びかけられました。

今回の会議には WHO 事務局長である Dr Lee Jong-Wuk も出席し、スピーチを行いました。

また、WPPF の山本信夫副座長も、日本薬剤師会の代表として会議に出席しました。薬局が一次医療の主たる担い手として認識されたことを喜んでいると思います。

今回の総会に出席できたこと、この歴史的総会が開催されたこと、さらには今後は年 1 回開催されるということは、薬剤師が一次医療において世界を先導する専門職のひとつとして認知されたということです。薬剤師はこのことを誇りとすべきです。今回の会議は、全ての医療従事者が力を合わせ、世界における多くの困難な医療問題に取り組んでいくための呼びかけでした。会議報告は、WHPA のウェブサイト ( [www.whpa.org](http://www.whpa.org) ) でご覧下さい。

**JOHN WARE, OAM**

WPPF 会長